

石狩市公立小中学校事務職員第44回学校間連携会議

2013年7月12日14:00～  
於：石狩市庁舎201号会議室

1. 議長挨拶

2. 経過報告

6月14日（金）

第34回連携会議

「2013ふらのフォーラム公式案内」リンク設置

6月25日（火）

「石狩市公立小中学校の概要」の速報値HPアップ

3. 協議題

- (1) 予算要望委員会に向けた「統一要望」の検討（予算要望回答の交流を通して）
- (2) 2013年度「保護者負担調査」について～別紙1
- (3) 学校徴収金（学年教材費・各教科実習費・PTA会費等）実態調査について～別紙2
- (4) 輪転機・コピー機の調査について

4. 実践交流

5. 連絡事項

- (1) ふらのフォーラムの参加料を本日集金します。
- (2) 今年度の夏季研修会につきましては、別紙、日刊連携会議をご参照ください。事前に資料の提出をお願いしています。期間があまりありませんが提出のほどよろしく願います。提出方法はEメール [colore3216@gmail.com](mailto:colore3216@gmail.com) まで、もしくは、学校アドレスまで提出をお願いします。

## <別紙1> 2013年度「保護者負担調査」について

### 1. 保護者負担調査の意義

保護者負担調査については、各校の現状を知ることによって自校の保護者負担軽減などのとりくみに活かすなどの効果があり、「学校財政確立のために活用できる資料をめざす（ひいては保護者負担軽減につながる）」という観点から継続して調査することが必要です。

### 2. 調査の観点

- (1) 保護者負担の状況を各校比較検討することにより、保護者負担軽減策のヒントを探る。
- (2) 学校徴収金と公費財政の関係を比較検討する資料として活用する。
- (3) 予算要望書の参考資料として活用する。

連携会議では、毎年保護者負担調査を実施しています。この調査の目的について第2回連携会議（09/6/16）では次のように論点整理を行いました。（当時の名称は「徴収金調査」）

石狩市連携会議では、'07年に徴収金調査を行いました。調査結果の分析をするに至らず、調査の利用についても残念ながら進展を見ませんでした。今回はその反省を踏まえ、第1回連携会議で提案したとおり、分析結果を予算要望委員会に反映するとともに、白書づくりの資料としていきたいと思えます。

学校徴収金は、今日こそ「学校会計の適切な処理」という観点で語られていますが、徴収金の内容や教育効果との関わり、保護者負担のあり方等については校内では大きな論議が巻き起こることなく長年にわたって慣行が続いているのが現状と推察されます。しかし、事務職員の間では①義務教育無償の原則に則り、全ての教育費は公費でまかなわれるべきであること、②従って当面、保護者負担を軽減するべく公費での予算措置を求めていくこと、との主な柱により実践がすすめられてきました。また、とりわけ「小泉構造改革」と称された政府方針により結果として世帯間の経済格差が生じ、そのことが子どもの学習機会の格差となって表出しているとの世論が高まっていること、加えて、OECDのPISSA調査をとおして、義務教育はもとより高等教育に至るまではほぼ教育費が無償であるフィンランドが学力世界一となった事実から、公費による教育投資の重要性がよりクローズアップされ始めたことなど、教育費の公費負担に係わる論議は大変重要になっています。

これらの観点を踏まえ連携会議では、各学校の徴収金の実情から課題整理を行うとともに、他校のとりくみを参考に、各校においても徴収金に係わる検討がなされるよう交流を行うことを目的として「決算予算調査」を行いました。その結果を予算要望委員会に反映するとともに今後の各校のとりくみに生かしていきたいと思えます。

この論点整理にもあるとおり、保護者負担調査の主たる目的は「私費負担の公費化」であり、保護者負担と公費負担の実態把握・比較検討を通して予算要求につなげるための保護者負担調査であるといえます。

### 3. 調査項目について

今年度も、昨年度に続き例年通りの保護者負担軽減調査及び保護者負担経費と公費負担経費の対比表を作成し、各学校の比較を継続して取り組みます。別紙集計用紙のとおり。

### 4. 具体的作業は次のとおりです。

保護者負担軽減調査について

- ・別紙集計用紙に記載する方法で調査する。決定後エクセルワークシートを送信します。
- ・集金に関する案内文書を出来る限り収集して提出してください。

5. 調査期間

8月30日（金）まで

<別紙2> 学校徴収金（学年教材費・各教科実習費・PTA会費等）実態調査について

(1) 調査について

夏期研において、「学校徴収金のとりまとめ」において各校の取り組み状況を調査交流することを主眼として調査を行いたいと思います。

(2) 調査項目について

別紙集計用紙のとおり。

(3) 調査期間および提出先

7月18日（木）まで 花川南中 加藤さん まで



連携会議事務局

学校徴収金（学年教材費・各教科実習費・PTA会費等）実態調査

丸数字の左が回答欄。該当箇所には○をつけてください。複数回答不可。

学校名（ ）

回答者（ ）

1. 徴収方法は？

	①	原則口座振替
	②	原則現金納入
	③	その他（内容： ）

2. 上記の担当者は？

	①	事務職員
	②	学年担当者
	③	学級担任
	④	その他（内容： ）

2. 口座振替取扱い金融機関は？

例：ゆうちょ銀行（ ）

3. 年間振替回数は？

例：年3回（ ）

4. 振替手数料（1回分）は？

例：1回10円（ ）

5. 徴収金決定への事務職員の関わりは？

	①	全くノータッチ
	②	直接担当ではないが集約のみ
	③	直接担当ではないが集約を行い、市経理との積極的調整を行う
	④	直接担当であり集約のみ行う
	⑤	直接担当であり集約を行い、市経理との積極的調整を行う
	⑥	その他（内容： ）

6. 徴収金集金の事務職員の関わりは？

	①	全くノータッチ
	②	一部の集金業務
	③	全ての集金業務
	④	その他（内容： ）

7. 徴収金支払いの事務職員の関わりは？

	①	全くノータッチ
	②	全ての支払い業務
	③	一部の支払い業務
	④	その他（内容： ）

8. その他ご意見欄

ご協力ありがとうございました。7月18日(木)迄に 花川南中 加藤へ提出してください。(FAXのみ)